

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北関東)	◎	百貨店（店長）	来客数の動き	・前年は新型コロナウイルスの感染拡大により来客数が低下していた時期だが、前年を超える状況で推移している。一方、暖冬の影響により、来客数の回復と連動して力強い売上増加に直結する状況には至っていない。
	◎	一般レストラン 〔居酒屋〕（経営者）	単価の動き	・忘年会シーズンの繁忙期ということもあり、予約でほぼ毎日満席状態である。1品料理を注文する客の客単価が上がっている。
	○	一般小売店〔酒類〕（経営者）	販売量の動き	・ボジョレーヌーヴォーワインの販売数拡大があったため、やや良くなっている。
	○	スーパー（総務担当）	来客数の動き	・来客数は徐々に伸びている。
	○	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・販売量と人の動きが、少し多くなっている。
	○	一般レストラン 〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・12月の売上も新型コロナウイルス感染症発生前の水準に戻ってきており、宴会予約も例年に近い。忘年会のピークを過ぎて来客数は順調である。客単価が若干低めな点が、一抹の不安である。
	○	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	単価の動き	・給食部門では、今年度以降、順次取引条件の見直しによる引上げを承認してもらえており、収支面も持ち直し傾向にある。弁当部門では、年末年始の行事に係る弁当等の引き合いが、まだ新型コロナウイルス感染症発生前には戻りきっていない。
	○	都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・ホテル、外食業界は、前年より客は戻ってきているが、今後についてはまだ不透明である。
	○	通信会社（営業担当）	来客数の動き	・物価高は続いているものの、大分慣れも生じてきている。金額の安い商品を探す状況は変わらないが、消費自体の上向きは感じられる。
	○	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・秋以降、安定した天候に恵まれ、新型コロナウイルス感染症発生以降減少していた一般団体客が増加傾向となる等、少しずつ回復傾向がみられる。
	○	ゴルフ練習場（経営者）	販売量の動き	・宿泊施設や観光地、ショッピングセンター等は例年よりも人が多いように感じられる。
	○	美容室（経営者）	来客数の動き	・賃金の引上げは民間努力に負わせておいて、政治資金の問題など、政治不信は極まりない。
	○	設計事務所（所長）	それ以外	・年末の消費活動が活発化している。しかし、お歳暮や年賀状縮小等の時代の変化を感じ、それに伴い業態も変化していくことが予想される。
	□	商店街（代表者）	来客数の動き	・12月は年金給付月で、生活必需品を扱う店には客が多く出入りしているが、当店は現在、年賀状印刷の受付をしているものの、受注は前年の半分に落ち込んでいる。
	□	一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・年末になっても、物価の上昇で買い控えが多くみられる。一般小売店はスーパーに押されて、営業をやめる店が出てきているが、我々には何もできない。
	□	一般小売店〔土産〕（経営者）	販売量の動き	・3か月前と同様、新型コロナウイルス感染症発生前の売上水準に匹敵するような販売量である。また、前年度を上回る傾向が続いていることも変わらない。国内外の観光客の動きが活発な状況は続いている。
	□	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・お歳暮、クリスマス商戦は前年割れの結果となっている。気温低下に伴い、アパレルに動きがあるものの、トータルでは横ばいで、景況感に大きな変化はない。
	□	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・食品エリアの動きは良くなってきており、クリスマス商戦も前年を確保できている。婦人服等の自家需要は好調だが、ファッション、雑貨エリアはクリスマス需要の低下で、ギフト関連が厳しい。
□	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・今シーズンは降雪が余りにも少なく、スキー場へ行く客が大きく減っている影響で、当店の来客数、売上共に減少している。	

□	衣料品専門店 (販売担当)	来客数の動き	・どこをどう見ても、明るい兆しがみえない。ずっと悪いままなので、どうしてもネガティブになって仕方がない。ただし、そうはいつても、このまま店を続けるかやめるしかないため、きっかけや客との接点を作りながら営業していくしかない。客が来ないことが、1番の悪い理由である。
□	家電量販店(営業担当)	販売量の動き	・季節商材が前年比で75%と苦戦している。暖冬の前予測でエアコン等のキャンペーン施策はしたものの、売上には結び付かなかった。映像関連でも盛り上がりがなく前年比90%、ゲーム関連は90%、全体としては85%、来客数は92%と、厳しい結果となっている。
□	乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・前月から新車や中古車等の販売が少し上向いてきたと思ったところ、大手自動車メーカーの不正問題が発生したため、該当メーカーから軽自動車等のOEMを受けている当地域の自動車メーカーにも、波紋が広がっている。急ぎよ、他メーカーの軽自動車や普通車にシフトするなどの方針転換をしている。
□	住関連専門店 (店長)	お客様の様子	・特に景気回復となる要因がない。
□	住関連専門店 (仕入担当)	販売量の動き	・各商材の値上げの影響から、来客数や買上点数が減少する状況はほとんど変わっていない。唯一、食品のみ値上げ分が上積みされている状況である。
□	その他飲食 [ファースト フード] (経営者)	販売量の動き	・前年と比べて売上は95%ほどで来客数が90%と、そこそこカバーできている。それほど変わらないと判断している。
□	旅行代理店(所長)	来客数の動き	・オフシーズンに入り、好調だったインバウンド旅客の来訪も落ち着いてきている。
□	タクシー運転手	お客様の様子	・时期的に、忘年会等で週末は動きがあるものの、1次会で終了のケースがかなり多く、夜9時頃に依頼の電話が集中している。会社からのタクシーチケットが出なくなり、電車で早い時間に帰宅する人も多くなっている。景気の良い話は聞かず、深夜の利用客はいない。また、会社からの費用援助も、忘年会か新年会のどちらかになっているようである。
□	タクシー(経営者)	お客様の様子	・夜の動きが悪かったが、昼の動きが少し良かったので、前年同月と比べて横ばいである。
□	通信会社(総務担当)	お客様の様子	・月末から値上がりするという噂で販売は伸びているものの、売れ筋は廉価商材中心で、利益が伴っていない。
□	ゴルフ場(従業員)	来客数の動き	・団体のコンペでの来場者は増えてきているが、全体的には大きな変化はない。
□	競輪場(職員)	販売量の動き	・業界として、年末年始及び年度末、年度始めは販売量が増える傾向がある。
□	住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・最近引き合い等の電話の数も減っている感じがする。特に、土地、建物については余り引き合いがない。また、店舗等も事務所の統合等が進んでいるようで、空室が目立っている。
▲	スーパー(商品部担当)	単価の動き	・売上は前年の2割減少と変わらず苦戦して推移している。前月と比べ客単価が5%低下と、かなり厳しい。原因として、前年にはあった地域振興券がないことや値上げの影響が多少あるのではないかと。
▲	家電量販店(店長)	来客数の動き	・来客数が伸びず、売上確保は非常に厳しい。
▲	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・今月は年末でもあり、受注残の車両の登録や売上計上はできている。しかし、先の受注がない。
▲	乗用車販売店 (営業担当)	それ以外	・メーカーの生産がストップしてしまい、受注が取れないため、商談にもならない。
▲	通信会社(社員)	販売量の動き	・サービス加入以上の解約申出が目立ってきているが、既存顧客維持活動により、何とか販売量を増加させている。ただし、今後は厳しいと考えている。
▲	通信会社(局長)	それ以外	・物価は高止まりしているが、給与等は現状、変わらないか横ばいのため、消費は買い控えや節約傾向にある。

	▲	美容室（経営者）	それ以外	・各メディアで報道されている政治資金に関する問題ほど、衝撃的なことはない。この状況で国民が景気の心配をしたところで、本気で取り組んでくれるのか、心中割り切れないものがある。停滞する気持ちが全てに影響する。
	▲	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	それ以外	・人手不足が改善できず現行社員の業務負担が多くなり、閉塞感が増している。じり貧状態を改善するため、対応車種を限定したり、完全予約制を依頼したり、始業時間を1時間ずらし、終業時間を30分早めたりという対応を、やむなく実施している。そのため、売上の低下は避けられない。
	▲	住宅販売会社（経営者）	単価の動き	・工事費等が高騰するなか、地価は上昇する気配が全くない。掛かったコストを転嫁できず、状況は悪化するか、成り立たなくなる。
	▲	その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（営業）	販売量の動き	・今冬に内窓の設置を検討していた客の動きが、補助金申請の期間終了間近になったことに伴い、売上が落ち着いてしまっている。新年度に向けて検討する客が多い。
	×	一般小売店〔家電〕（経営者）	来客数の動き	・商材の動きは悪いが、客の動きも非常に鈍い。冬場になって少しは暖房関係が出ると思っていたが、ほとんど出ない。
	×	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・前年比で来客数は97%、客単価89%、売上は86%で推移している。3か月前頃から道路工事が始まり、店舗前の道路に交通規制が掛かっているため、売上に響いている。店の手前100メートルと店を通過して500メートル先で陸橋工事をしており、交通量が激減した影響を受けている。
	×	衣料品専門店（統括）	販売量の動き	・当店の販売商材は、祭りに使用する衣装等がほとんどであるため、祭りの時期を外れると、客の利用がほぼなくなる。そうしたことから、2024年も夏～冬にかけて販売量が増えてくる。
	×	家電量販店（店員）	販売量の動き	・今月は金額で見ると前年比90%と振るわない。主要商材の伸びが鈍化しており、テレビは70%、パソコン本体60%、冷蔵庫70%、洗濯機85%、エアコン75%という結果になっている。
	×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・12月なのに思った以上に悪い。来客数は少なく、単価も悪い。忘年会等も、新型コロナウイルス感染症発生前にはあった大人数での宴会はなくなり、少人数で安く行う感じになっている。
企業動向関連 (北関東)	◎	—	—	—
	○	輸送用機械器具製造業（総務担当）	取引先の様子	・受注量、生産台数共に安定している。
	○	金融業（営業担当）	取引先の様子	・取引先においては、ボーナス等の増額が行われている企業も多くなっており、全体的に従業員の所得の増加が見込まれる。
	○	不動産業（経営者）	取引先の様子	・海外からの就労者が働き先を選べるようになり、外国人が住む管理物件の需要は、引き続き確保されていくため、やや良くなる。
	○	経営コンサルタント	それ以外	・地域経済の雰囲気として、個別企業は現状の業績を淡々と積み上げている状況である。業績の上がっている企業や下がっている企業に変わった様子もなく、2極化傾向に大きな変化はみられない。ただし、飲食関係は総じて、いまだに相当深刻な状況がうかがえる。
	○	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	取引先の様子	・取引先で情報化投資の動きが増加しつつあり、商談や受注件数は増加している。
	□	窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・製造、販売共に、順調に推移している。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・好調な自動車業界の仕事は、引き続き堅調に推移している。

	<input type="checkbox"/>	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量はここ10年余りのなかで、最低ではないかと思えるくらい、冷えてきている気がする。その上、これから大手自動車メーカーの不正問題の影響も出てくるため、先が見えない。
	<input type="checkbox"/>	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・取引先の情報でも、余り変化はなく推移している。
	<input type="checkbox"/>	輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・取引先や受注量、販売量の動きが良い会社と悪い会社は半々くらいで変わらない。
	<input type="checkbox"/>	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・12月に入り、暖房器具、石油ファンヒーター、電気ヒーター、こたつ、カーペット、加湿器等や初売り、白物家電等のインターネット販売、通信販売向け商材の輸送は、前年並みの物量を確保している。しかし、車両不足もあり輸送費用が高く、利益は厳しい状況である。
	<input type="checkbox"/>	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・年末向け商戦の広告出稿は、それほど多くない。飲食業では集客はできるが、むしろ人手不足の心配が多い。
	<input type="checkbox"/>	社会保険労務士	取引先の様子	・事業主との会話では、売上が特に伸びたり、落ち込んだりしているとの話は聞かない。
	<input checked="" type="checkbox"/>	不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・事務所テナントの空室状況には変化がないものの、清掃や保守の定期業務量が減少したため、売上が減少している。
	<input type="checkbox"/>	建設業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・公共工事主体で売上の95%を占めている。今期の公共工事発注は前年並みの金額だが、前々年比では10%減少と厳しい数字である。
雇用 関連 (北関東)	<input checked="" type="checkbox"/>	—	—	—
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（管理担当）	求人数の動き	・派遣の求人数が伸びているため、やや良くなっている。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・お歳暮等の商戦の人手は大分影響があったようである。随分募集はあったが、採用についてはまだ分からない状態で推移している。クリスマス商材等の販売については、意外と募集に手応えがあったようである。全般的には価格の高騰により、先行きが不透明である。
	<input type="checkbox"/>	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年同月比で減少と増加を繰り返している。
	<input type="checkbox"/>	学校〔専門学校〕（副校長）	それ以外	・年末に向けて消費が増えているため、景気は上向きに感じる場面はあるものの、物価高騰等の影響で買い控えもみられるため、総じて変わらない。
	<input checked="" type="checkbox"/>	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・これまで派遣で補充していたポジションについても、社内配置転換で補充する企業が増えている。全体的に人材不足の状況は変わらないが、業界による差が大きい。
	<input type="checkbox"/>	*	*	*
	<input type="checkbox"/>	*	*	*